



CINEMA SB580 (ALL-IN-ONE)



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL CINEMA BAR SB580 (ALL-IN-ONE) (サウンドバー)は100-240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、コンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置いたりしないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用しない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があります。製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	1
1. はじめに	4
2. 同梱品	5
3. 製品の概要	6
3.1 コントロールとインジケーター	6
3.2 コネクタ	7
3.3 リモコン	8
4. 設置	9
4.1 台への設置	9
4.2 壁に取り付ける	10
5. 接続	11
5.1 TVとの接続	11
5.2 BLUETOOTH接続	13
6. 再生	15
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	15
6.2 TVソースからの再生	16
6.3 BLUETOOTH入力ソースからの再生	17
7. サウンドの設定	19
7.1 ドルビーアトモス(バーチャル)	19
7.2 プリセットEQ設定	20
7.3 低音の調整	21

8. 工場出荷時設定への復元	21
9. 製品の仕様	22
10. トラブルシューティング	23
11. 商標	25

1. はじめに

JBL CINEMA BAR SB580 (ALL-IN-ONE) (サウンドバー)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、ずば抜けたサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書をご覧くださいませようお願いいたします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト: www.jbl.comをご覧ください。

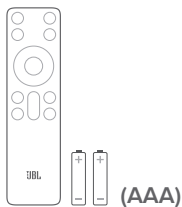
2. 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることをお確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

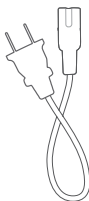
本体



リモコン(単4乾電池2本付属)



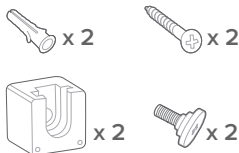
電源コード*



HDMIケーブル



壁取り付け用キット

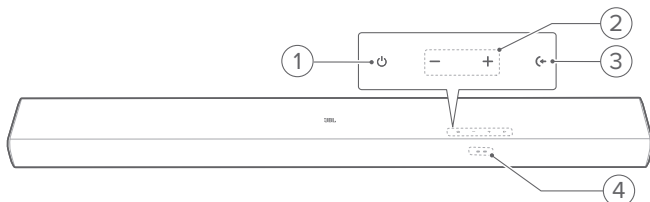


製品情報&壁取り付け用型紙



3. 製品の概要

3.1 コントロールとインジケーター



1. ㊤ (電源)

- 電源オンまたはスタンバイ。

2. -/+ (音量)

- 音量を増減させます。
- 押し続けると音量が連続して増減していきます。
- 両方のボタンを同時に長押しすると、スピーカーをミュートするか、またはミュート状態を解除します。

3. ↶ (ソース)

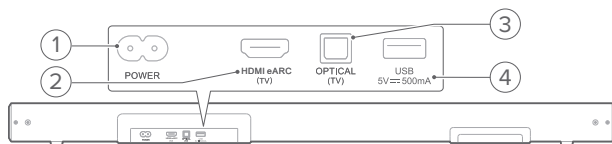
- オーディオ入力ソースを選択してください: TV (デフォルト、**HDMI eARC (TV)**コネクタが**OPTICAL (TV)**コネクタより優先するテレビ接続からのオーディオ入力用)、またはBluetooth。
- Bluetoothモードで3秒以上長押しするとBluetoothペアリングモードに入ります。

4. ステータスインジケーター

● (赤色)	点灯 (赤色)	スタンバイモード
☀ (赤色)	素早く点滅 (赤色)	システムの起動
○ (白色)	点灯 (白色)	HDMI eARCを選択済み
● (橙色)	点灯 (橙色)	Opticalを選択済み
☀ (青色)	素早く点滅 (青色)	Bluetoothペアリングモード
● (青色)	点灯 (青色)	Bluetoothに接続済み
● (緑色)	点灯 (緑色)	Dolby Atmos®オーディオを再生する

\	点滅 (現在のサウンドソース)	音量の調整
\	ゆっくりと点滅 (現在のサウンドソース)	最高/最低音量に達した
\	続けてゆっくりと点滅 (現在のサウンドソース)	ミュート中

3.2 コネクタ



1. POWER

- 電源に接続。

2. HDMI eARC (TV)

- TVのHDMI eARC入力に接続します。

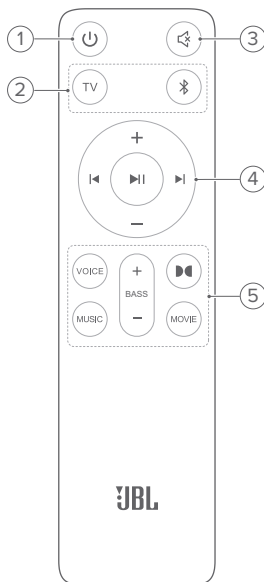
3. OPTICAL (TV)

- TVの光デジタル出力に接続します。

4. USB

- ソフトウェアアップデート用USB端子 (アフターサービスのみに使用)。
- MP3ファイルを再生するためにUSBストレージデバイスに接続 (米国モデルのみ)。

3.3 リモコン



1. 電源

- 電源オンまたはスタンバイ。

2. 入力切替 TV

- TVソースを選択 (HDMI/光デジタル端子ケーブルに接続されている場合は、自動的にeARCまたはOpticalソースに切り換わります。HDMI eARC (TV) コネクタはOPTICAL (TV) コネクタよりも優先されます)。

Bluetoothモード

- Bluetooth入力ソースを選択してください。
- 3秒間長押しすると、Bluetoothペアリングモードに入ります。

3. ミュート

- ミュートまたはミュートを解除します。

4. 再生ボタン



- Bluetoothソース: 1つ前か、次の楽曲にスキップします。



- Bluetoothソース: 再生または一時停止します。



- 音量を上げたり下げたりします。
- 長押しすると音量が連続して増減します。

5. サウンドエフェクトボタン

VOICE

- ニュース用にプリセットされているEQ (イコライザー) を選択します。

MUSIC

- ミュージック用にプリセットされているEQ (イコライザー) を選択します。

MOVIE

- ムービー用にプリセットされているEQ (イコライザー) を選択します。

+ BASS -

- サブウーファースの低音レベルを選択します: 1/2/3 (デフォルト) / 4/5

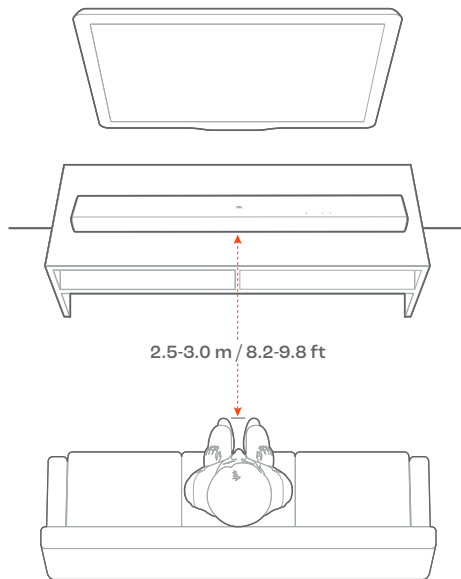


- バーチャル・ドルビーアトモスサウンドエフェクトのオンまたはオフを切り換えます (デフォルト: オン)

4. 設置

4.1 台への設置

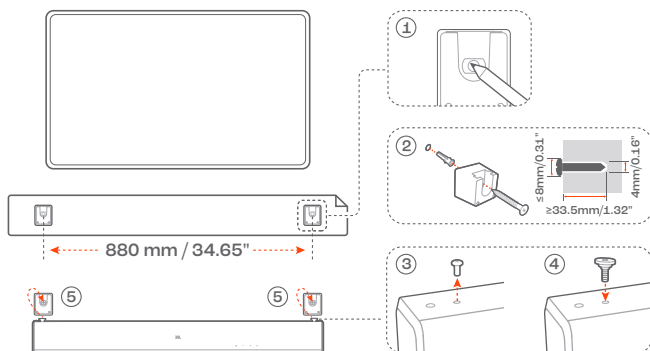
サウンドバーは水平で安定した場所に置いてください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバーの上面には何も置かないでください。

4.2 壁に取り付ける



1. 準備:

- 粘着テープを使って、付属の壁取り付け用型紙を壁に貼り付けます。
- ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
- 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。ねじのサイズについては図2をご覧ください。

2. 壁取り付け用金具を取り付けてください。

3. 図に示されているように、ドライバーを使って固定されているねじを取り外します。

4. 付属の取り付けキットに同梱されている壁取り付けねじで固定します。

5. サウンドバーを壁に取り付けてください。

注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度の場所に設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーの電源が入っていないことを確認してください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

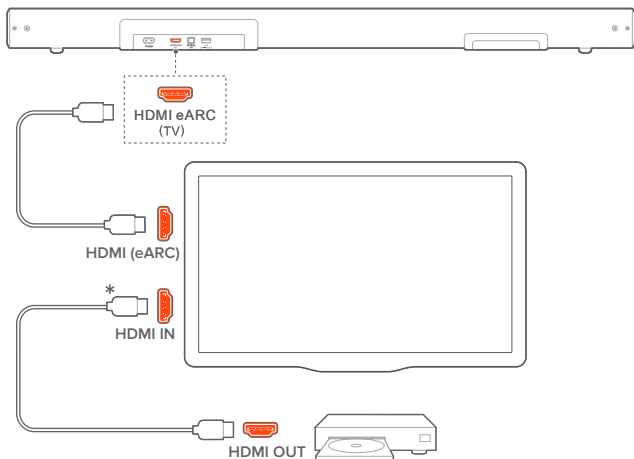
5. 接続

5.1 TVとの接続

付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

5.1.1 TV (HDMI eARC)

（ドルビーアトモスを最大限に満喫するための推奨接続）

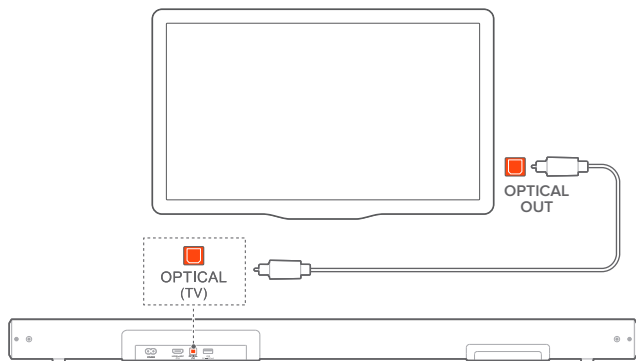


1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVの**HDMI (eARC)**をサウンドバーに接続します。
 - TVがHDMI-CECとHDMI eARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書を参照してください。
2. HDMIケーブル（V2.0以降）を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとTVを接続します。
 - デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書を参照してください。
 - TVとデジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に楽しむために、音声出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。

注:

- TVに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するには、TVを選択します（「[6.2 TVソースからの再生](#)」をお読みください）。
- バーチャルドルビーアトモスにより、このサウンドバーのドルビーサラウンドアップミキサーは5.1および7.1コンテンツを含むドルビーデジタルフォーマットのレガシーチャンネルベースのオーディオを拡張することができ、没入感のある3Dアトモス体験を実現します。

5.1.2 光デジタル端子ケーブルを使う



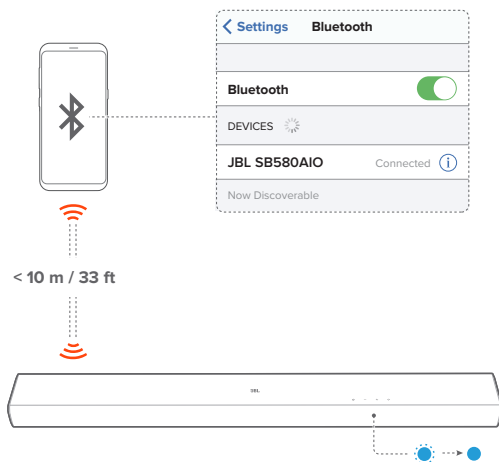
光デジタル端子ケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続します。

注:

- 光デジタル端子ケーブルを通してオーディオを再生するには、TVソースを選択してください（「[6.2 TVソースからの再生](#)」をお読みください）。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートPCといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



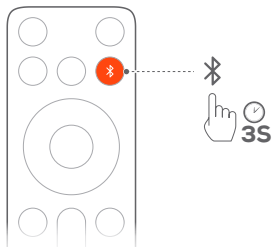
5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続

1. 電源ボタンを押すと電源が入ります(「[6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ](#)」をお読みください)。
2. Bluetoothを選択するには、サウンドバーのBluetoothボタンを何度か押すか、またはリモコンのBluetoothボタンを押してください。
→ **ペアリングの準備**: ステータスインジケーターが青色で素早く点滅します (点滅する青色のLED)。
3. Bluetooth対応デバイスの方ではBluetoothが有効になり、3分以内に「JBL SB580AIO」の検索を開始します。
→ **接続済み**: ステータスインジケーターが青色で点灯します (点灯する青色のLED)。確認音が鳴ります。

5.2.2 最後にペアリングしたデバイスを再接続する

本機はスタンバイモード時もペアリングしたBluetooth対応デバイスを記憶しています。次回にBluetooth入力ソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後にペアリングしたデバイスとの再接続を行います。

5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続する



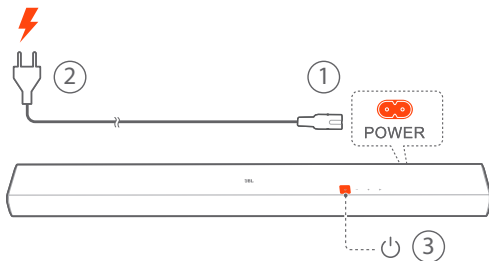
1. Bluetoothソースでステータスインジケータが青色で点滅するまで、サウンドバーの **◀** ボタン、またはリモコンの **Bluetooth** ボタンを長押しします。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
2. 「[5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続](#)」の手順3に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合は、まずデバイスの「JBL SB580AIO」のペアリングを解除してください。

注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えると、接続が切れてしまいます。
- 周辺に電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出すデバイスはサウンドバーから離してお使いください。

6. 再生

6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



電源オン

1. 付属の電源コードを使って、サウンドバーを電源に接続してください。
2. 電源を入れるには、サウンドバーまたはリモコンの ⏻ ボタンを押します。

注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続（「[5.1 TVとの接続](#)」をお読みください）がすべて完了していることを確認してください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り換わります。
→ 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択された入力ソースに戻ります。

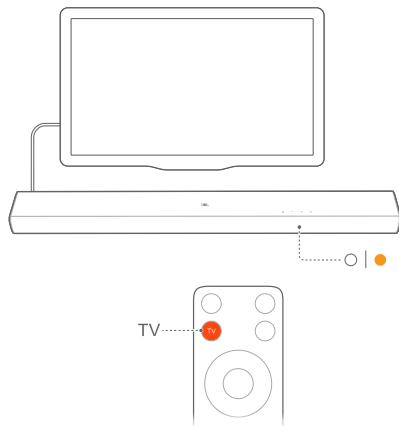
オートウェイクアップ

サウンドバーは、次の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI eARCでTVと接続されていて、TVの電源が入っている時。
- サウンドバーが光デジタル端子ケーブルによってTVに接続され、光デジタル端子ケーブルからのオーディオ信号を検出した時。

6.2 TVソースからの再生

TVの音声を接続したサウンドバーのスピーカーで楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TVの内蔵スピーカーが無効になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書を参照してください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「[5.1 TVとの接続](#)」をお読みください）。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの  ボタンを何度か押すか、またはリモコンのTVボタンを押してください。
 - HDMI eARCケーブルを通して再生する場合は、ステータスインジケーターが白色で点灯します (○)。
 - 光デジタル端子ケーブルを通して再生する場合は、ステータスインジケーターが橙色で点灯します (●)。

6.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をテレビリモコンで操作するには、テレビがHDMI-CECに対応していることを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「[6.2.2 TVリモコンラーニング](#)」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVのリモコンで、サウンドバーの音量の+/-、サウンドソース、電源オン/スタンバイ機能を操作することができます。

6.2.2 TVリモコンラーニング

赤外線コマンド学習を通して、TVリモコンからIRコマンドを受信し、シンプルなコマンドについてはTVリモコンを使用できるようにサウンドバーをプログラムすることが可能です。

1. 電源ボタンを押して電源を入れます。
2. ステータスインジケータが橙色で点滅するまで、10秒以上電源ボタンと+ボタンを同時に長押しします。
→ サウンドバーがTVリモコンラーニングモードに入ります。
3. TVリモコンをサウンドバーに向けてください。以下の指示に従ってください：
 - a) サウンドバーでこれらのボタンの1つを長押しします：+、-、おおよび電源ボタン。ステータスインジケータが赤色で3回点滅するまで長押しします。
 - b) TVリモコンで、お好きなボタンを2回押しします。
→ サウンドバーでステータスインジケータが橙色で点滅した場合、TVリモコンのボタンがサウンドバーボタンの機能を学習しています。
4. すべてのボタンを記憶させるには、手順3を繰り返してください。
5. TVリモコンラーニングモードを終了するには、ステータスインジケータが橙色で3回点滅するまで、サウンドバーの電源ボタンと+ボタンを長押しします。

6.3 Bluetooth入力ソースからの再生

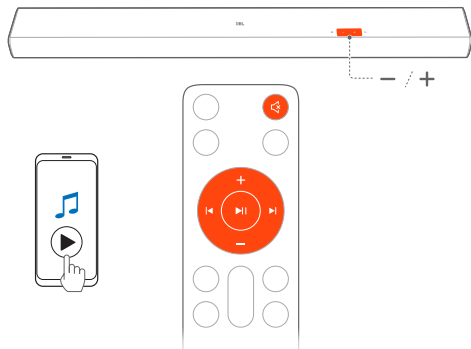
Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミングします。



1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることを確認してください（「[5.2 Bluetooth接続](#)」をお読みください）。
2. Bluetoothを選択するには、サウンドバーのBluetoothボタンを何度か押すか、またはリモコンのBluetoothボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
4. サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調整します。

6.3.1 音楽再生の操作

Bluetoothモードでは、リモコンまたはサウンドバーのボタンを使って音楽再生を操作することができます。

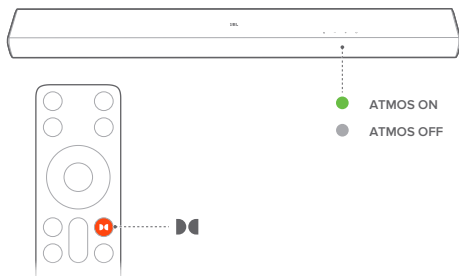


ボタン	機能
◀	前の楽曲へ戻ります。
▶	次の楽曲にスキップします。
⏸	再生または一時停止します。
+/-	音量を増減します。
🔇 (ミュート)	ミュートまたはミュートを解除します。

7. サウンドの設定

7.1 ドルビーアトモス(バーチャル)

HDMI eARCソースで映画を再生することで、バーチャルドルビーアトモスによる高さ方向に広がるサウンドエフェクトを楽しむことができます。



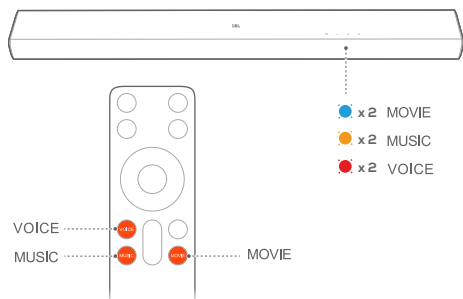
1. **HDMI eARC**端子を通してBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続・再生してください。(「[5.1 TVとの接続](#)」をお読みください)。
2. リモコンのボタンを押してドルビーアトモスサウンドエフェクトのオンとオフを切り換えます(デフォルト: オン)。
→ ドルビーアトモスサウンドエフェクトが有効な場合は、ステータスインジケータが緑色で点灯します(●)。

注:

- 映画鑑賞または音楽鑑賞中に高さ方向に広がるサウンド効果を無効にしたい場合は、Dolby Atmosエフェクトをオフにしてください。

7.2 プリセットEQ設定

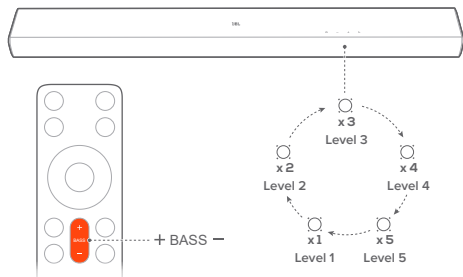
リモコンで、動画や音楽に最適化されたプリセットEQ(イコライザー)エフェクトを選択します。



- **MOVIE:**ムービー用サウンドモード
→ サウンドバーでムービーモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが青色でゆっくり2回点滅 (●) します。
- **MUSIC:**ミュージック用サウンドモード
→ サウンドバーでミュージックモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが橙色でゆっくり2回点滅 (●) します。
- **VOICE:**ニュースや天気予報のようなTV番組用サウンドモード
→ サウンドバーでボイスモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが赤色でゆっくり2回点滅 (●) します。

7.3 低音の調整

お好みで低音の調整を行うことができます。



- リモコンで、**+ BASS -**を押して低音レベルを切り換えます：Level 1, 2, 3, 4, 5（デフォルト：「Level 3」）。

8. 工場出荷時設定への復元



- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- サウンドバーの電源と音量ダウンボタンを10秒以上長押しすると、工場出荷時設定に復元されます。
→ カスタマイズしたすべての設定がサウンドバーから削除されます。

9. 製品の仕様

一般仕様

- モデル名: CINEMA SB580 (ALL-IN-ONE)
- サウンドシステム: 3.1チャンネル
- 電源: 100-240V AC、~50/60Hz
- 総合出力 (最大@THD 1%) : 200W
- サウンドバー出力 (最大@THD 1%) : 150W
- サブウーファー出力 (最大@THD 1%) : 50W
- サウンドバーのスピーカー構成: 45x80mm レーストラックドライバー×3
- サブウーファースのドライバー: 70x88mm 内蔵サブウーファー×1
- スタンバイ時消費電力: 0.5W 未満
- 動作保証温度: 0°C-45°C

HDMI仕様

- HDMI eARC (オーディオリターンチャンネル): 1
- HDMI HDCPバージョン: 1.4

オーディオ仕様

- 周波数特性: 55Hz-20kHz (-10dB)
- オーディオ入力: 光デジタル端子 1x、Bluetooth、USB (米国モデル以外は、電力供給用のみ。)

USB仕様

- USB端子: Type A
- USB定格: 5V DC、0.5A
- 対応ファイルフォーマット: mp3
- MP3コーデック: MPEG 1 Layer 2/3、MPEG 2 Layer 3、MPEG 2.5 Layer 3
- MP3サンプリングレート: 16-48kHz
- MP3ビットレート: MPEG 1 Layer 1: 32kbps-448kbps、
MPEG 1 Layer 2: 32kbps-384kbps、MPEG 1 Layer 3: 32kbps-320kbps、
MPEG 2/2.5 Layer 1: 32kbps-256kbps、MPEG 2/2.5 Layer 2/3: 8kbps-160kbps

ワイヤレス仕様

- Bluetoothバージョン: 5.3
- Bluetoothプロファイル: A2DP 1.3、AVRCP 1.6
- Bluetooth対応トランスミッター周波数帯域: 2400MHz-2483.5MHz

- Bluetooth最大送信電力:10dBm未満 (EIRP)
- Bluetooth変調:GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK

サイズ

- サウンドバー寸法 (幅x高さx奥行):950x67x105mm
- サウンドバー重量:約3.5kg
- 梱包寸法 (幅x高さx奥行):1112x116x164mm
- 梱包重量:約5.0kg

10. トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入らない。

- 電源コードが電源とサウンドバーに挿し込まれていることを確認してください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元します(「[8. 工場出荷時設定への復元](#)」をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ない

- サウンドバーがミュート状態でないことを確認してください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時設定に復元するには、サウンドバーの $\odot$ と $\leftrightarrow$ ボタンを10秒以上長押しします。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかを確認してください。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうか確認してください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください(「[5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続する](#)」をお読みください)。

接続したBluetooth対応デバイスからの音質が良くない

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、入力ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、入力ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。
- 一部のBluetooth対応デバイスでは、電力を節約するため、自動的にBluetooth接続を停止させることがあります。この場合、サウンドバーは故障していません。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかを確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVリモコンのコマンド学習に失敗した。

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうか確認してください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のTVリモコンには対応していません。

11. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Dolby, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works.

Copyright © 2012-2021 Dolby Laboratories. All rights reserved.



HARMAN International
Industries, Incorporated
8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2025 HARMAN International Industries,
Incorporated.

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、HARMAN International Industries,
Incorporatedの、米国および/またはその他の国々
の商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに
変更されることがあります。

HA_JBL_SB580 ALL-IN-ONE_OM_Japan_V2 (148x105)